

人間関係学科 あいあいタイム 小学校3年 第4パッケージ

つ～ながれ！

1. 本パッケージのねらい

二学期になり、運動会や遠足などの取り組みを通して、子ども同士の関係は深まっている。しかし、困っている子に言葉をかけることができなかったり、意見がぶつかったときにけんかになったりする場面がまだまだ見られる。

本パッケージは、「つ～ながれ！」というテーマで、一つの大きな目標を達成する過程において、子ども同士が自然に協力し合う場面を設定した。一人ではできないことも、友達と協力すれば達成できるという体験を通して、積極的に関わりあおう、支えあおうとする態度を養いたい。また、みんなで一つの物事を成し遂られたという達成感を味あわせたい。

2.『つ～ながれ！』パッケージ全体を通しての目標（ターゲットスキルとねらい）

* コミュニケーション力

- ・グループで、からだを支えあったり、声をかけったりして、つながりを深める。

* 対人関係

- ・ワークでの友だちとの関わりを通して、よりよい関係を築くきっかけにする。

* 共感性

- ・みんなでひとつのこと達成できたことを喜び合う。

3.『つ～ながれ！』パッケージ全体の流れ

第1時・・・「新聞紙でつ～ながれ！」

　アイスブレーキング：ハイ・イハ・ドン

　メインエクササイズ：新聞ジグソー

第2時・・・「魚でひとつにつ～ながれ！」

　アイスブレーキング：せーの

　メインエクササイズ：魚でひとつにつ～ながれ！

第3時・・・「わっかでひとつにつ～ながれ！」

　アイスブレーキング：トントン肩

　メインエクササイズ：輪つなぎ

第4時・・・「橋を作ってつ～ながれ！」(本時)

　アイスブレーキング：「そうですね」ゲーム

　メインエクササイズ：橋を作ってつ～ながれ！

4. 実施時期

第3年2学期

5. 各時間の具体的展開例

第4時 「橋を作つ~ながれ！」(本時)

【本時のターゲットスキル】

- ・コミュニケーション力
- ・対人関係
- ・共感性

【本時のねらい】

- ・グループで、からだを支えあったり、声をかけあったりして、助け合う。
- ・みんなでひとつのつながりができたことを喜び合う。

【エクササイズ】

アイスブレーキング：「そうですねゲーム」

メインエクササイズ：「橋を作つ~ながれ！」

【本時の流れ】

	時間	活動の流れ（教員の教示・子どもの反応と動き）	留意点・教具等
ウォーミングアップ	5分	<p>「あいあいタイム」の4つの「あい」を確認する。</p> <p>「そうですねゲーム」</p> <p>[方法]</p> <ul style="list-style-type: none">指導者が言ったことに、どんなことでも「そうですね。」と受け止めてかえす。「今日はいい天気ですね。」「そうですね。」恵我っ子、3年生、かしこいなど。	<ul style="list-style-type: none">・「I・相手・合い・愛」を表す。・緊張を解き、楽しい雰囲気になるようにする。
インストラクション	5分	<p>「橋を作つ~ながれ！」</p> <ul style="list-style-type: none">・「台風で船がひっくり返り、みんなは、海に投げ出されてしまいました。そして、3つの島にわかれ流れきました。島と島を橋でつないで、行き来ができるようにしたいと思います。みんなで橋を作つて、つながりましょう。」【橋の作り方】・一人が自分の岩を海に置いて、その上に立つ。二人目は、自分の岩を一人目に渡し、一人目はそれを自分の岩の隣に置く。二人目は、一人目の岩に乗ってから自分の岩に移る。三人目は、岩を一人目に渡し、一人目から二人目に渡し、二人目は、自分の岩の隣に置く。三人目は、一人目の岩に上がり、二人目の岩を伝つて、自分の岩に立つ。同様にして順に自分の岩の上に立つ、橋を作つていく。	<ul style="list-style-type: none">・準備（ビニールシートで海、茶色の画用紙で3つの島）・掲示物を用いて、ルールを分かりやすく説明する。・一つの島の岩（踏み台）を赤と黄に分けておく。

		<p>真ん中で、向こうの島のチームの橋と出会ったら、終了。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一つの島を2つのグループに分かれて、隣の島に橋をかけていく。 	
エクササイズ	25分	<p>6つのグループが2つずつ向かい合って、橋を作っていく。</p> <p>【ルール】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人でも岩から落ちたら、橋は、壊れてしまう。初めからやり直す。 岩から岩へ飛ばない。 自分のグループの橋ができたら、岩にすわって、他のグループを応援する。 渡る順番は、相談してかえてもよい。 <p>つながった橋を互いに向こうの島まで渡り合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 橋ができた後、互いのグループが向こうの島まで渡る。うまくいかないときは、二つのグループが集まって、相談をする。 一人でも台から落ちたら、橋が完成している状態からやり直す。 	<ul style="list-style-type: none"> 各グループをまわり、ルールの徹底をはかる。 うまくいっていないグループに対しては、グループで相談するように助言する。 <p>* 橋を作るワークを子どもたちが簡単にクリアした場合にのみ、このワークを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの様子をみて、うまくいかない場合は、どうしたらいいか、全員を集めて、相談する。うまくいったグループがあれば、見本にやってもらう。
シェアリング	10分	<p>「橋を作ってつながれ！」がどうしてうまくいったのか、あるいはいかなかったのか、気がついたことや気持ちを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「さんが落ちそうになったときに、たすけてくれた。」 「声をかけ合ったから、できた」 「話し合っていい方法を見つけられた。」 「みんなで、一つにつながれて、うれしかった。」 <p>友だちの意見を聞いた後、ふりかえりプリントに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分や友達のがんばりを伝えさせるようとする。 気づきにくい時は、指導者が気づいたことを参考にさせる。

[参考文献]

Let's Cooperate いっしょにできるよ 発行所 E R I C 著者 ミルドレッド・マシェダー

あいあいタイム



『はしを作つ~ながれ！』ふりかえりカード



年 組 番 名前

今日の「あいあいタイム」は、楽しかったですか？

とても楽しかった 楽しかった あまり楽しくなかった 楽しくなかった
() () () ()

友だちと力を合わせて、はしを作ることができましたか？

よくできた できた あまりできなかつた できなかつた
() () () ()

自分が友だちを助けたり、友だちから助けてもらったことを書きましょう。

（This large rectangular box contains three horizontal dashed lines for writing responses.)

今日の「あいあいタイム」で、かんじたことを書きましょう。

（This large rectangular box contains three horizontal dashed lines for writing responses.)